

2020年12月18日

「静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2021年1～6月期 B.S.I.)」

景況感は2年ぶりに「改善」に転じる見込み ～製造業および大企業では改善が顕著～

静岡経済研究所（理事長 一杉逸朗）では、11月に実施した「静岡県内企業経営者の景気見通し調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

景気見通し

- 2021年上期（1～6月）のB. S. I.（業界景気見通し指数）は、「上昇」（27%）が「下降」（24%）を+3ポイント上回り、リーマン・ショック時にならぶ悪化判断となった前回調査からプラスに転じた。
- 企業規模別では、大企業が「上昇」（47%）が「下降」（22%）を+25ポイント上回った。一方、中小企業では「横ばい」（50%）とする見方が半数を占めるなど、企業規模によって業界見通しの差がみられた。
- 業種別にみると、全20業種のうち、「上昇」が11業種、「横ばい」が1業種、「下降」が8業種。製造業では、主力の「輸送用機械器具」（ $\Delta 61 \rightarrow +26$ ）、「電気機械器具」（ $\Delta 44 \rightarrow +30$ ）、「金属製品」（ $\Delta 38 \rightarrow +20$ ）などで持ち直しを見込んでいる。一方、非製造業では、「運輸・倉庫業」（ $\Delta 18 \rightarrow +21$ ）などが改善を見込むが、「ホテル・旅館業」（ $\Delta 36 \rightarrow \Delta 25$ ）、「小売業」（ $\Delta 14 \rightarrow \Delta 20$ ）などで引き続き悪化判断となった。
- 2021年下期については、「上昇」（30%）が「下降」（16%）を+14ポイント上回り、業種別では製造業が+18、非製造業が+10と両業種とも改善判断となった。

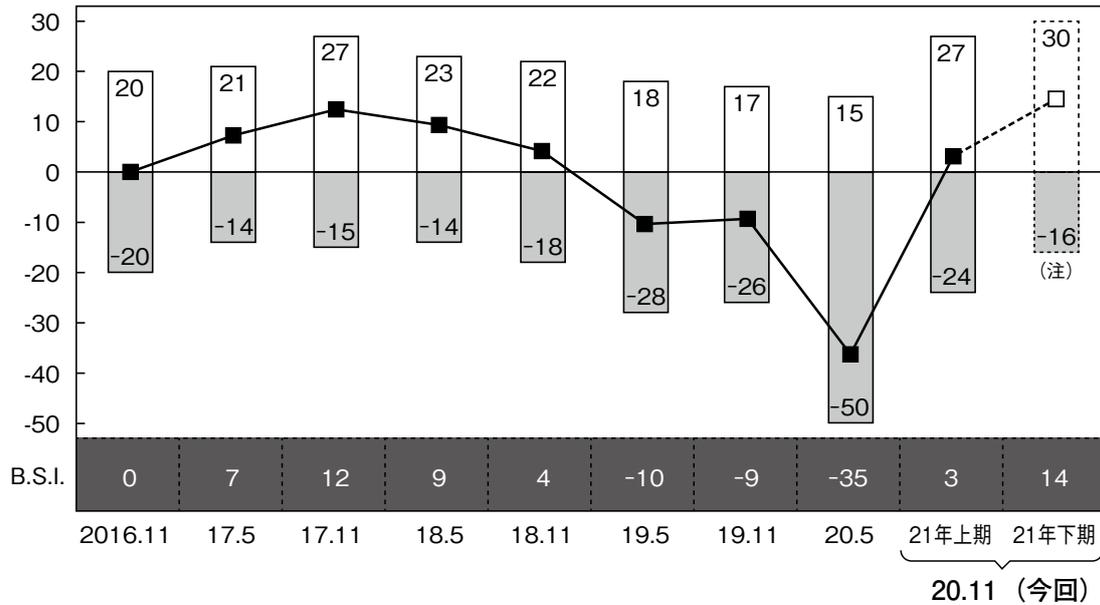
※本件のお問い合わせ先 担当（清 亮介）

今月の定例調査

第115回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査（2021年1～6月期B.S.I.）

景況感は、2年ぶりに「改善」に転じる見込み ～製造業および大企業で改善が顕著～

図表1 半期先の業界景気見通し



□ 上昇 (%)、■ 下降 (%) ■ B.S.I. (「上昇」と「下降」の差を指数化したもの)

(注) 2021年下期は2021年上期と比べた業績見通し

景気見通し (概況)

□ B.S.I. は大企業がけん引し、改善判断に転じる

2021年上期（1～6月）のB.S.I.（※）による業界景気見通しは、「上昇」（27%）が「下降」（24%）を+3ポイント上回り、リーマン・ショック並みの悪化判断となった前回調査からプラスに転じた（図表1）。新型コロナウイルスの感染拡大により大きく後退した景況感は、改善見通しとなった。

企業規模別にみると、大企業では「上昇」（47%）が「下降」（22%）を+25ポイント上回った。一方、中小企業では「横ばい」（50%）とする見方が半数を占め、「上昇」（25%）と「下降」（25%）が均衡（±0ポイント）となり、企業規模によって業界景気の見通しに差がみられた（次頁図表2）。

2021年下期（7～12月）は、「上昇」（30%）が「下降」（16%）を+14ポイント上回る結果となった。企業規模別でみると、大企業で+29ポイント、中小企業で+13ポイントと、1～6月期を上回るとみており、大企業を中心に景況感の改善が続く見通しとなった（次頁図表2）。

（※）B.S.I. (Business Survey Index) とは、「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。次頁の「調査の要領」を参照。

業種別見通し

□製造業、非製造業ともに前期から大幅に回復

2021年上期の業種ごとの見通しを前回と比べると、製造業（△41→+7）は改善に転じ、非製造業（△28→△1）はマイナス幅を大きく縮小した（図表3）。

業種を詳細にみると、全20業種のうち、「上昇」が11業種、「横ばい」が1業種、「下降」が8業種となった。製造業では、主力産業である「輸送用機械器具」（△61→+26）や「電気機械器具」（△44→+30）、「金属製品」（△38→+20）などで持ち直しを見込んでいる。一方、非製造業では、「運輸・倉庫業」（△18→+21）などが改善を見込むが、「ホテル・旅館業」（△36→△25）、「小売業」（△14→△20）などで引き続き悪化判断となった（5頁附表）。

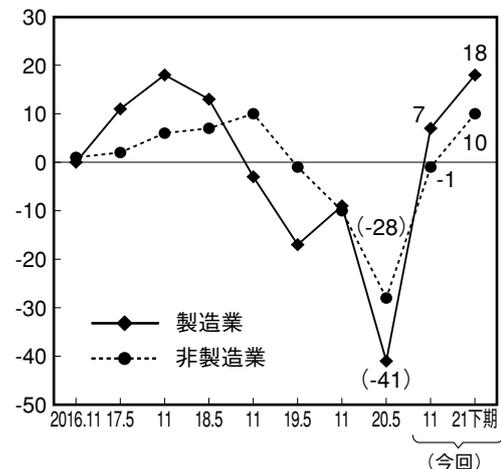
なお、2021年下期については、製造業は+18、非製造業は+10と改善判断となった。企業規模別では、中小企業に比べて大企業で改善を見込む（図表2、3）。

図表2 業界景気見通し

（単位：％）

| 項目 業種別・ 規模別 | 回答 企業 数 | 業 界 景 気 | | | | | | | |
|-------------------|---------------|-----------|---------|--------|----------------|------------|---------|--------|----------------|
| | | 2021年1～6月 | | | | 2021年7～12月 | | | |
| | | 上 昇 | 横 ばい | 下 降 | B. S. I. | 上 昇 | 横 ばい | 下 降 | B. S. I. |
| 全企業 | 323 | 27 | 49 | 24 | 3 | 30 | 54 | 16 | 14 |
| 大企業 | 32 | 47 | 31 | 22 | 25 | 42 | 45 | 13 | 29 |
| 中小企業 | 291 | 25 | 50 | 25 | 0 | 29 | 55 | 16 | 13 |
| 製造業 | 157 | 32 | 43 | 25 | 7 | 32 | 54 | 14 | 18 |
| 大企業 | 15 | 47 | 33 | 20 | 27 | 33 | 60 | 7 | 26 |
| 中小企業 | 142 | 30 | 45 | 25 | 5 | 32 | 53 | 15 | 17 |
| 非製造業 | 166 | 23 | 53 | 24 | △1 | 28 | 54 | 18 | 10 |
| 大企業 | 17 | 47 | 29 | 24 | 23 | 50 | 31 | 19 | 31 |
| 中小企業 | 149 | 20 | 56 | 24 | △4 | 25 | 57 | 18 | 7 |

図表3 業界景気見通し推移（B.S.I.）



注1）本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。
注2）「2021年1～6月」は「2020年7～12月」と、「2021年7～12月」は「2021年1～6月」と比較した見通しである。

調査の要領

- 調査目的：この調査は、当研究所が1963年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的にしている。
- 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- 調査内容：①2020年下期（7～12月）に比べた2021年上期（1～6月）、および2021年上期に比べた2021年下期の自社の業績見通し
②2020年下期に比べた2021年上期の売上額、経常利益などの項目別見通し
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- 調査時点：2020年11月中旬
- 回答状況：調査対象企業760社のうち、有効回答をよせられた企業は323社で、有効回答率は42.5%である。

（注）B.S.I.（Business Survey Index）とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたもので、前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…zについて、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義。全員が上昇とみればB.S.I.は+100、全員が下降とみるとB.S.I.は△100になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど+100に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど△100に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I.は0となる。

項目別見通し

□製造業、非製造業ともに増収を見込み、経常利益も回復する見通し

今後の見通しについて項目別に前回調査と比較してみると、製造業では、「生産量」(△41→+6)や「販売数量」(△41→+4)が増加することで、「売上額」(△42→+4)の改善を見込んでいる(図表4、5)。収益面では、「原材料(仕入)価格」(△6→+20)や「賃金」(+5→+27)、「雇用者数」(△8→+14)の上昇によりコスト増が懸念されるが、「経常利益」(△83→+3)は改善する見通し。

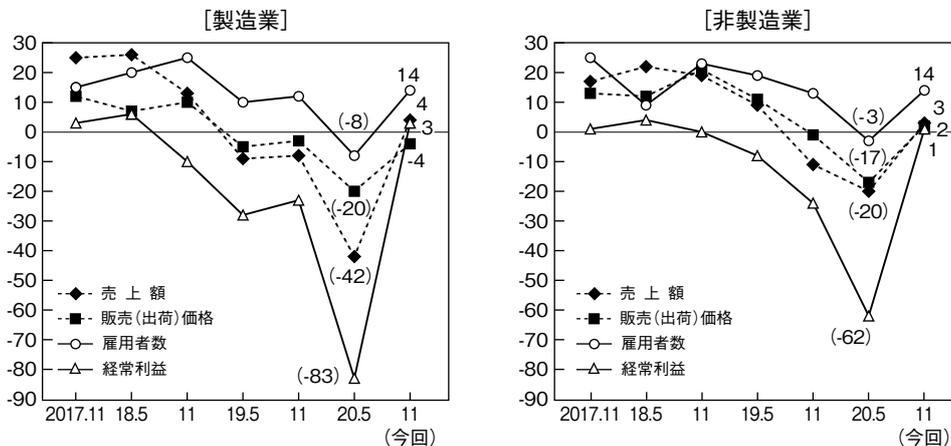
非製造業は、「販売(出荷)価格」(△17→+2)の上昇により「売上額」(△20→+3)が増加する見通し。収益面では、「原材料(仕入)価格」(+7→+13)や「賃金」(+4→+29)の上昇などからコスト面で厳しい状況が予想されるものの、「経常利益」(△62→+1)は、かろうじてプラスに転じるとみられる。

製造業、非製造業ともに、各項目のB.S.I.は、前回調査(2020年下期)の状態から多くの項目で改善傾向を示しており、最悪期は脱したとみられる。

図表4 2021年1～6月の項目別見通し

| [製造業] | | [非製造業] | | (単位: %) | | |
|-------|-------|--------|-----------|---------|-------|-------|
| 減少・下降 | 増加・上昇 | B.S.I | 項目 | B.S.I | 減少・下降 | 増加・上昇 |
| 33 | 37 | 4 | 売上額 | 3 | 32 | 35 |
| 20 | 16 | △4 | 販売(出荷)価格 | 2 | 21 | 23 |
| 33 | 37 | 4 | 販売数量 | 0 | 30 | 30 |
| 31 | 39 | 8 | 受注額 | △2 | 34 | 32 |
| 32 | 38 | 6 | 生産量 | △9 | 30 | 21 |
| 3 | 23 | 20 | 原材料(仕入)価格 | 13 | 11 | 24 |
| 6 | 33 | 27 | 賃金 | 29 | 4 | 33 |
| 15 | 21 | 6 | 製品(商品)在庫数 | △5 | 16 | 11 |
| 7 | 21 | 14 | 雇用者数 | 14 | 11 | 25 |
| 27 | 28 | 1 | 設備投資 | △4 | 20 | 16 |
| 15 | 26 | 11 | 金融機関借入 | △2 | 19 | 17 |
| 30 | 33 | 3 | 経常利益 | 1 | 31 | 32 |

図表5 主要な項目別見通しの推移(B.S.I.)



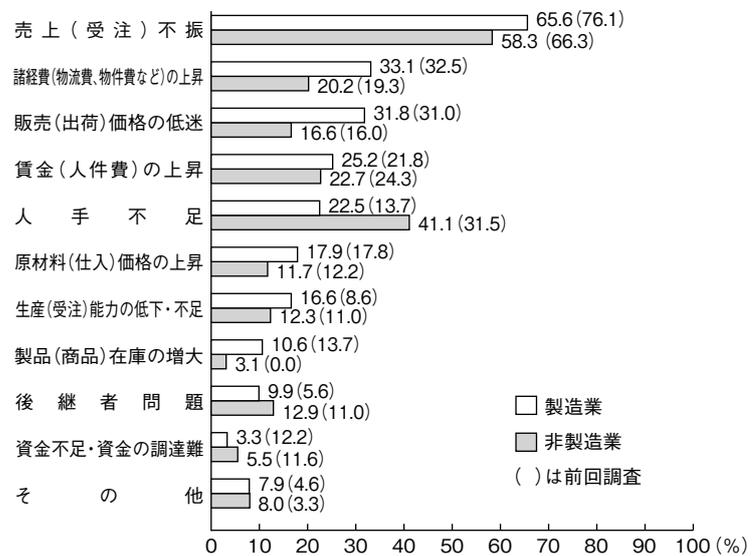
経営上の問題点

□売上不振と並び、非製造業では人手不足が重要課題

企業経営上の問題点としては、製造業、非製造業ともに「売上（受注）不振」を挙げる企業が最も多い（図表6）。前回調査と比べると製造業で△10.5ポイント、非製造業で△8.0ポイント減少したものの、依然として需要回復が喫緊の課題となっている。

製造業では、「諸経費（物流費、物件費など）の上昇」（32.5%→33.1%）や「賃金（人件費）の上昇」（21.8%→25.2%）などのコスト増加に加え、「販売（出荷）価格の低迷」（31.0%→31.8%）によって、収益悪化が懸念される。一方、非製造業では、建設業や小売業を中心に「人手不足」（31.5%→41.1%）を挙げる経営者が多く、「賃金（人件費）の上昇」（24.3%→22.7%）、「諸経費（物流費、物件費など）の上昇」（19.3%→20.2%）が経営上の重石になっている。

図表6 現在の企業経営上の問題点（複数回答）



今後重視する経営戦略

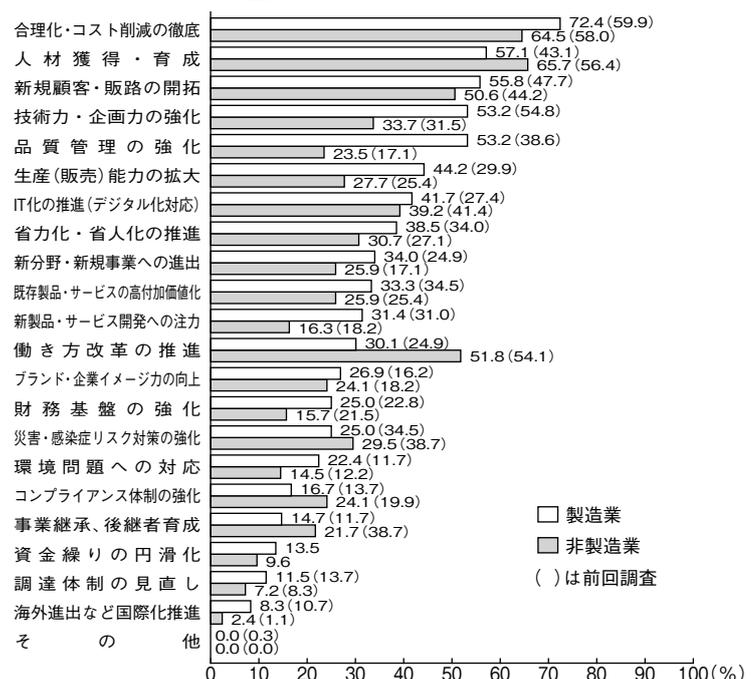
□コスト削減の徹底や人材の確保・育成を重視

今後重視する経営戦略としては、製造業、非製造業ともに、「合理化・コスト削減の徹底」や「人材獲得・育成」が多い（図表7）。

製造業は、「品質管理の強化」（38.6%→53.2%）や、「生産（販売）能力の拡大」（29.9%→44.2%）、「IT化の推進（デジタル化対応）」（27.4%→41.7%）が前回調査から大幅に増加。非製造業では、「働き方改革の推進」（54.1%→51.8%）が多いほか、「新分野・新規事業への進出」（17.1%→25.9%）を挙げる経営者が増加した。

以上のように、静岡県内企業経営者による2021年上期の景気見通しは、2年ぶりの改善判断となった。ただし、原材料価格や人件費などのコスト上昇により、利益確保には苦勞するとみられ、感染状況によっては景況感が下押しされることも想定しておく必要がある。

図表7 今後重視する経営戦略（複数回答）



付表 2021年1～6月の業界景気、自社の見通し(B.S.I.)

| 業種 | 項目(B.S.I.) | (前 回) | (今 回) | 売上 額 | 販売 額 (出荷 格) | 販売 数量 | 受 注 額 | 生 産 量 | (仕 入 材 価 格 料) | 賃 金 | 在 庫 数 (商 品 数) | 雇 用 者 数 | 設 備 投 資 | 借 金 融 機 関 入 関 | 経 常 利 益 |
|----------------|------------|----------|----------|---------|----------------------|----------|-------------|-------------|------------------------------|--------|------------------------------|------------------|------------------|---------------------------------|------------------|
| 全産業(323) | | △35 | 3 | 3 | △2 | 3 | 3 | 0 | 17 | 28 | 2 | 14 | △1 | 5 | 1 |
| 製造業(157) | | △41 | 7 | 4 | △4 | 4 | 8 | 6 | 20 | 27 | 6 | 14 | 1 | 11 | 3 |
| 食料品(21) | | △15 | 24 | 9 | △14 | 4 | 9 | 24 | 24 | 24 | 4 | 0 | 5 | 5 | 0 |
| 繊維品(5) | | △83 | △20 | △20 | △40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | △40 | 0 | △80 | 0 | △60 |
| 木材・木製品(9) | | △50 | △45 | △11 | △22 | △34 | △22 | △22 | 22 | △11 | 11 | △11 | △22 | △11 | △45 |
| パルプ・紙・紙加工品(15) | | △11 | 13 | 13 | 0 | 13 | 13 | 7 | △6 | 14 | 14 | 20 | 7 | 36 | 7 |
| 出版・印刷(2) | | △75 | 50 | 50 | 0 | 0 | 50 | 50 | 0 | 50 | 0 | 0 | △100 | △50 | △50 |
| 化学・ゴム製品(7) | | △60 | △29 | △29 | △29 | △29 | △29 | △29 | 0 | △14 | 0 | 29 | △15 | △17 | △15 |
| 窯業・土石製品(7) | | △29 | △71 | △86 | 57 | △100 | △29 | △86 | 57 | 14 | 0 | 0 | 0 | 43 | △57 |
| 鉄鋼・非鉄金属(6) | | △11 | 0 | 17 | 17 | 40 | 0 | △17 | 17 | 0 | △50 | 0 | △33 | 33 | 0 |
| 金属製品(10) | | △38 | 20 | 40 | 0 | 20 | 40 | 40 | 20 | 50 | △10 | △30 | 30 | 44 | 30 |
| 一般機械器具(25) | | △48 | △8 | △21 | △12 | △8 | △12 | △8 | 20 | 32 | 4 | 21 | △4 | 13 | 8 |
| 電気機械器具(10) | | △44 | 30 | 20 | 10 | 40 | 20 | 10 | 10 | △10 | 0 | 50 | 40 | 10 | 0 |
| 輸送用機械器具(27) | | △61 | 26 | 11 | △15 | 14 | 14 | 18 | 30 | 56 | 23 | 22 | 3 | △7 | 33 |
| その他の製造業(13) | | △54 | 38 | 47 | 31 | 47 | 47 | 47 | 31 | 54 | 38 | 38 | 30 | 23 | 23 |
| 非製造業(166) | | △28 | △1 | 3 | 2 | 0 | △2 | △9 | 13 | 29 | △5 | 14 | △4 | △2 | 1 |
| 建設業(39) | | △28 | △13 | △13 | △15 | △20 | △28 | △26 | 0 | 30 | △19 | 34 | △16 | △10 | △34 |
| 卸売業(29) | | △30 | 3 | 7 | △3 | 7 | 13 | 22 | 15 | 31 | △15 | △10 | △8 | △36 | 0 |
| 小売業(25) | | △14 | △20 | △4 | 0 | △21 | 0 | △25 | 10 | 24 | △9 | 16 | 16 | 12 | 25 |
| 運輸・倉庫業(24) | | △18 | 21 | 5 | 9 | 14 | 0 | △23 | 26 | 34 | 13 | 20 | 0 | 17 | 4 |
| ガス業(4) | | △33 | 33 | 25 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | 75 | 25 | 0 | 0 | 25 | 0 |
| サービス業その他(37) | | △41 | 8 | 24 | 21 | 26 | 18 | 8 | 18 | 30 | 13 | 22 | △9 | 3 | 20 |
| ホテル・旅館業(8) | | △36 | △25 | △25 | △12 | △25 | 0 | △20 | 15 | 0 | 0 | △38 | 12 | 15 | 0 |

※業種名の横の()内の数字はサンプル数